

# トホクのキャベツ栽培方法

発芽適温：15～30℃ 生育適温：15～25℃  
 土壌酸度：pH6.5～7.0 連作障害；3～4年あける

## 1. 作物特性

キャベツは極端な暑さや寒さは嫌いますが、土質はあまり選ばず、比較的強健で作りやすい野菜で、害虫の発生を抑えることが栽培のポイントです。夏まき秋冬どり、秋まき春どり、春まき初夏どりと、タネまき時期が分かれますが、それぞれのタネまき時期にあった品種を選択することも重要です。

## 2. タネまき

連結ポットなどに約1cm位の深さでタネを数粒ずつまきます。キャベツはタネまき時に30℃を超えるようなら発芽率が低下します。



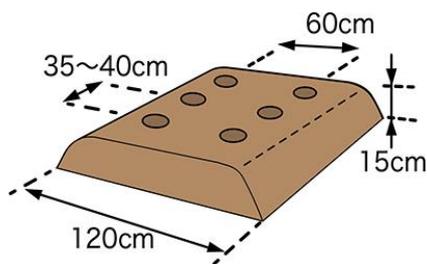
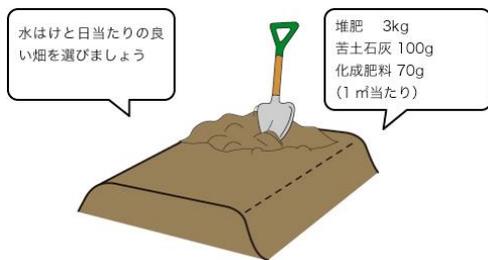
まだ暑さが残っているようなら、タネをまいて発芽までは直射日光の当たらない軒下など涼しい所において管理します。



間引きは残す苗が傷まないようにていねいに行います。水やりは軟弱徒長にさせないために「夕方にはポットの土の表面が乾く」程度に朝のうちにやりましょう。

## 3. 植えつけ

キャベツは過湿には弱い作物ですので、排水の良い畑を選んで植えつけます。またアブラナ科野菜との連作は避けましょう。



植え付け後はしっかりと水やり、活着を促します。

(注意)  
 秋まきキャベツの場合

は大苗を植えると春先にと立ちする可能性があります、本葉15枚未満で冬を向かえるようにします。

## 4. 栽培管理

植えつけてから2～3週間後、外葉が伸び始めたら1㎡当たり70gの化成肥料を追肥し中耕します。秋まき栽培の場合は越冬後の2月頃に追肥します。



キャベツはアオムシなどの害虫がよくつく野菜です。特に夏まきで夜温が高い季節は要注意です。キャベツに蝶や蛾が卵を産むことができないように、植えつけたらすぐに防虫ネットをトンネル状にかけておくと効果的です。



## 5. 収穫

球を上から手で押さえて締まっているようなら収穫できます。キャベツの球を斜めに倒し、株元に包丁を入れて切り取ります。



●栽培例 ●まく時期 ●収穫時期

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
冷涼地		春～夏まき										
中間地												
暖地												